

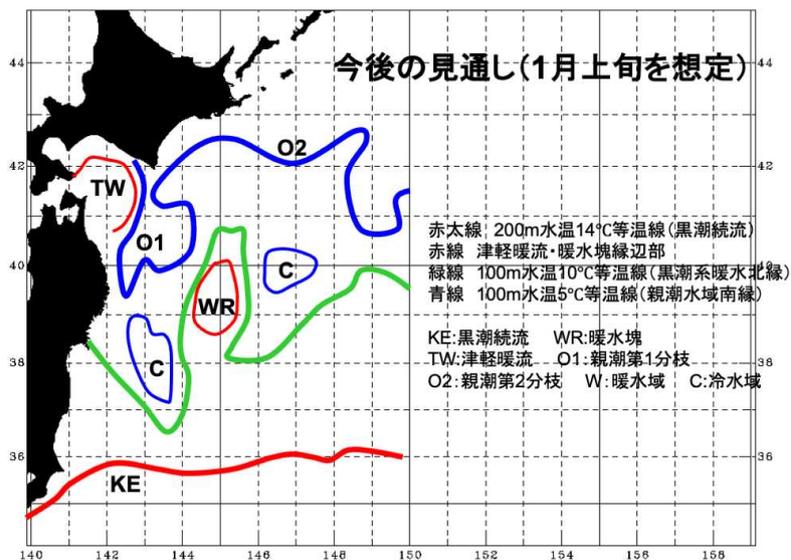


2020年度 第4回 東北海区海況予報

— 別表の水産関係機関が検討し国立研究開発法人水産研究・教育機構
水産資源研究所がとりまとめた結果 —

今後の見通し(2020年12月中旬～2021年1月)のポイント

- ・ 近海の黒潮続流の北限位置はやや南偏で推移する。
- ・ 親潮第1分枝の張り出しは極めて南偏からやや北偏で推移する。
- ・ 常磐沖に親潮第1分枝に連なる冷水域が形成され、三陸沖の暖水塊は停滞する。



問い合わせ先

国立研究開発法人 水産研究・教育機構
担当：管理部門 杉崎、樽井
海洋環境部 栗田、長谷川
電話：022-365-1191、ファックス：022-367-1250
当資料のホームページ掲載先URL
<http://www.fra.affrc.go.jp/pressrelease>

2020年度東北海区海況予報 第4号

《今後の見通し（2020年12月中旬～2021年1月）》

近海の黒潮統流の北限位置はやや南偏で推移し、親潮第1分枝の張り出しは極めて南偏からやや北偏で推移する。常磐沖に親潮第1分枝に連なる冷水域が形成される。下北半島沖の暖水塊は消滅する。三陸沖の暖水塊は停滞する。黒崎はるか沖の暖水塊は消滅する。

《海況の経過（2020年9月～2020年11月中旬）の特徴》

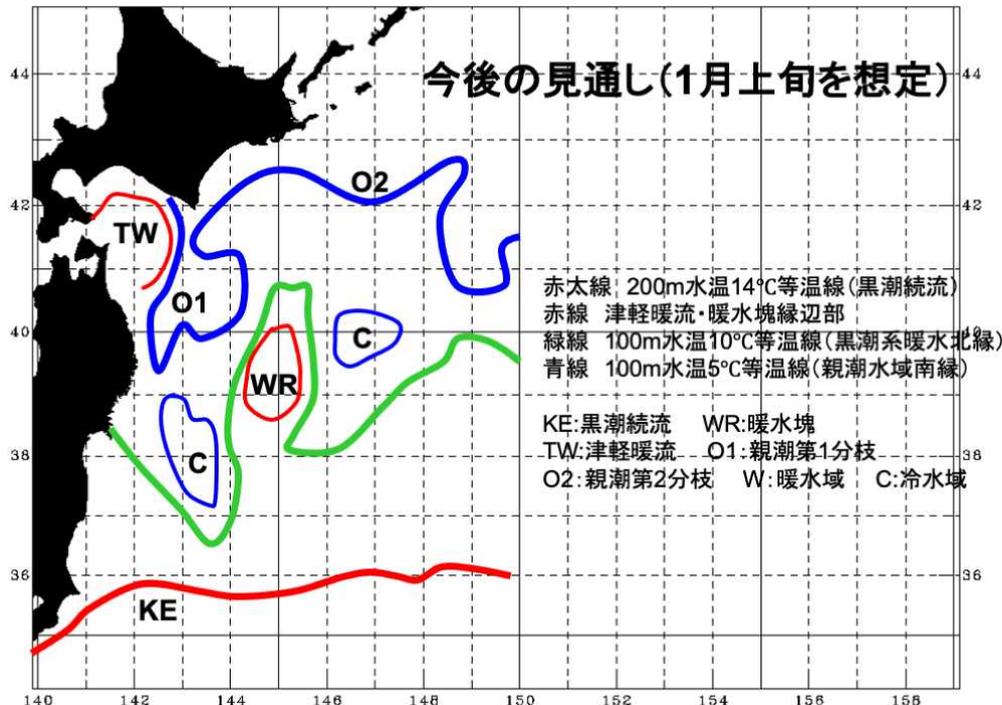
近海の黒潮統流の北限位置はかなり北偏～極めて北偏で推移した。親潮第1分枝の張り出しはかなり南偏～かなり北偏で推移した。下北半島沖の暖水塊は停滞した。黒崎はるか沖に暖水塊ができた。三陸沖の暖水塊は消滅した。三陸はるか沖の暖水塊は三陸沖に西進した。

《現況（2020年11月下旬）の特徴》

近海の黒潮統流の北限位置はかなり北偏、親潮第1分枝の張り出しは極めて北偏である。暖水塊が下北半島沖と黒崎はるか沖と三陸沖にある。

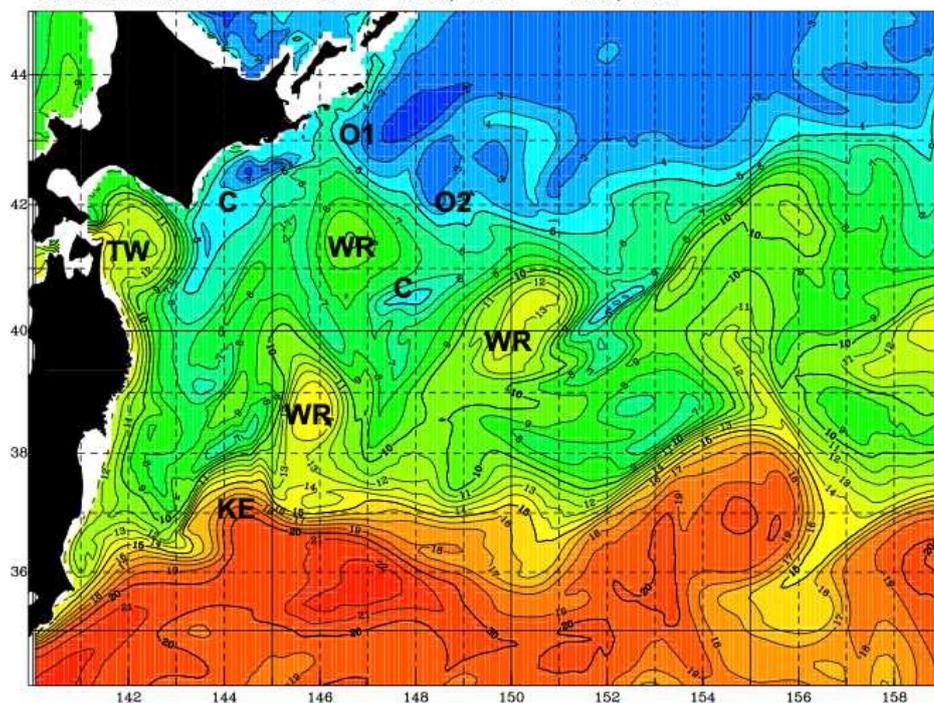
（注）この海況予報は、国立研究開発法人水産研究・教育機構により開発され、2012年5月より運用を開始したFRA-ROMSシステムを用いた。FRA-ROMSは、我が国周辺太平洋域の海況経過を再解析し、2ヶ月先までの海況を予測する海況予測システムである。

1月上旬予測水温分布図



11月下旬現況水温分布図（100m深）

TEMPERATURE AT 100m DATE: 2020/1121 - 2020/1127



図中の記号はそれぞれO1が親潮第1分枝、O2が親潮第2分枝、KEが黒潮続流、TWが津軽暖流、WRが暖水塊、Cが冷水域を表している。

参 画 機 関

<p>地方独立行政法人 青森県産業技術センター 水産総合研究所</p> <p>岩手県水産技術センター</p> <p>宮城県水産技術総合センター</p> <p>福島県水産海洋研究センター</p> <p>茨城県水産試験場</p>	<p>(取りまとめ機関)</p> <p>国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産資源研究所</p>
--	--